

羅針盤



社会科部 情報活用委員会

「平成27年度の社会科部の活動」

社会科部長 内田 幹也

平成27年度が始まって早3か月が経ちました。やや時期を逸した感がありますが、本年度、社会科部の人事に大きな変化がありましたので紹介させていただきます。

昨年の4名の部長のうち、3名（中根俊忠六ツ美中部小学校長・平岩和博額田中学校長・内田尚之常磐東小学校長）が退職をされ、新たに2名の部長（山田一夫三島小学校長・杉田吉男六ツ美中学校長）を迎えることができました。本年度の部長は、3名体制になりますが、山田部長、杉田部長ともに指導員を経験された社会科本流の方ですので、たいへん心強く思っています。指導員も竹平真仁先生から加藤環先生に替わり、中学校の世話係に若手2名（佐々木幸美先生・内藤恵三先生）が加わりました。新しいメンバーで平成27年度の岡崎の社会科を牽引していきます。

活動については、基礎研修委員会、授業研究委員会（小学校・中学校）、研究作品委員会、情報活用委員会の4つの委員会を中心に進めていきます。

基礎研修委員会は、社会科の授業で扱う教材の生かし方、学習の進め方、評価のしかた、まとめ方を学ぶ機会を設け、社会科を教える教師としての力量を高めることを目的に、夏休みに実施する授業力アップセミナー基礎編の実施を中心に活動します。本年度もフィールドワークを行おうと、場所の選定を慎重に行っています。たくさん先生方の参加を期待しています。

授業研究委員会は、研究主題を「社会に参画していこうとする子どもの育成をめざし、仲間とかかわりながら問題の解決を図る社会科の授業（3年次）」とし、本年度の重点を「子どもが持続可能な社会の実現に向け、仲間とかかわりを通して動き出そうとする姿の実現」として、授業実践に取り組みます。10月に西尾市で開催される愛知県社会科研究大会では、美合小の三浦先生と竜南中の佐々木先生に研究リポートの発表をしてもらいます。

研究作品委員会は、本年度7回目の社会科研究作品展と4回目の社会科研究作品展発表会の実施に向けた取り組みを行います。岡崎市図書館交流プラザ内の岡崎むかし館の協力を得て行っているこの事業は、年々出品数が増え、内容も充実してきています。そして、多くの市民の皆さんからも好評を得ています。本年度も多くの中小学生が社会科研究作品づくりに取り組んでくれることを願っています。

情報活用委員会は、部報の発行とホームページの更新を主な活動とし、市内の教職員に社会科部の活動や教材及び指導方法等の紹介を行います。

その他にも「おかざき映像教材研究会」「三河教育研究会」「立体地図」「自主研修会（セーリング）」などの活動があります。1年間どうぞよろしくお願ひします。

ちよつと寄り道

名鉄拳母線跡（細川小学区）

三河電気鉄道拳母線は、岡崎市と豊田市を結ぶ大事な交通手段として、昭和4年に岩脇～上拳母（豊田市）間が開通しました。単線のため、岩脇の駅で待ち合わせをして電車がすれ違いました。この鉄道がしかれるまでは、矢作川を船でわたっていましたが、鉄道の開通によって、渡船はなくなりました。

自動車が普及し、自家用車で通勤するようになると、だんだん乗客が少なくなり、昭和48年に廃止されました。拳母線の跡は、細川小学校の西にわずかに残っているだけとなりました。

（細川小 米坂 達也）



愛社研大会情報

1 テーマ

「社会に参画していこうとする子どもの育成をめざし、
仲間とかかわりながら問題の解決を図る社会科の授業」(3年次)

2 期日 平成27年10月27日(火) 12:40~16:30

3 会場 西尾市立鶴城中学校・八ツ面小学校・鶴城小学校

※ 詳細が決まり次第、案内を送付させていただきます。

※ 本年度、岡崎からは佐々木幸美先生(竜南中)、三浦良見先生(美合小)
の提案があります。多くの先生方のご参加をよろしくお願ひします。
(三教研担当 男川小 鈴木 巨裕 翔南中 中根 良輔)

平成27年度授業力・教師力アップセミナー【基礎編】情報

今年度の「授業力アップセミナー【基礎編】」は、以下のような内容・日程で計画しています。

① 日 時 平成27年 7月30日(木) 9:00~15:30

② 場 所 ぬかた会館

③ 研修内容 研修1…見学実習

「額田地区のフィールドワーク」

天恩寺、万足平、宮崎茶栽培地域

<講師>岡崎むかし館主任専門員 野本欽也 先生

研修2…講義

「額田」の地域素材を生かした実践事例に学ぶ

実践報告:岡崎市立男川小学校 鈴木 巨裕 先生

:岡崎市立羽根小学校 長谷川威全 先生

研修3…協議

「実践発表に基づいたグループによる話し合い」

※ 昼食は各自でとりますが、店が少ないので、弁当持参が良いと思います。

※ 当日は宮崎地区への移動はバスを使用します。参加人数により、交通費の負担があります。



平成27年度社会科部の組織

部長	内田 幹也(六名小) 山田 一夫(三島小) 杉田 吉男(六ツ美中)		
指導員	中西 勉(男川小) 加藤 環(城北中)		
世話係	鈴木 巨裕(男川小) 長谷川威全(羽根小) 高瀬 透(北野小) 木村 充隆(矢西小) 山崎 彰伯(六北中) 中根 良輔(翔南中) 佐々木幸美(竜南中) 内藤 惠三(竜海中)		
委員長	基礎研修	委員長 新美 聡(矢北中)	副委員長 原田 康司(福岡小)
	授業研究(小)	委員長 尾山 和昭(矢南小)	副委員長 新井 健祐(梅園小)
	授業研究(中)	委員長 伴 巨裕(河合中)	副委員長 加藤さなえ(南中)
	研究作品	委員長 平川 誠(大樹寺小)	副委員長 加藤 周司(矢東小)
	情報活用	委員長 酒井 智之(井田小)	副委員長 實松 勇太(大門小)

平成27年度社会科部新任紹介

清水悠平(男川小) 多田結香(美合小) 稲垣拡大(竜美丘小) 柴田智巳(細川小) 鈴木俊宏(北野小)
桜井淳美(六北小) 山辺 舞(小豆坂小) 諏佐駿介(竜海中) 小林広奈(矢作中)
~ 新しい9名の先生方の今後の活躍に期待しています!! ~

H27 夏休み社会科自由研究についてのお知らせ

○「岡崎むかし館体験講座・社会科研究学習相談会」について

- 期 日 7月26日(日) 27日(月)
- 時 間 ① 10:00~11:30 ② 14:00~15:30
- 場 所 岡崎むかし館 (りぶら1階)
- 講 師 野本 欽也 先生 (岡崎むかし館主任専門員)
- その他
 - ・参加希望者は、上記の時間帯に、岡崎むかし館に来てください。
 - ・事前の申し込みなどの必要はありません。



夏休み 社会科研究作品づくり について

- 作品の内容
 - ・社会科学習 または 社会科の発展学習
 - ・おかざき学習(岡崎の心の醸成につながる郷土学習)に関するもの
- 作品の体裁
 - ・学校で配付される自由研究用の模造紙(1枚半以内)別添資料として、ノート、ファイル、スケッチブックなど。
 - ・ノートやルーズリーフ等のみでもよい。
- 作品の書き方
 - ・学校で配付される模造紙、ノートの書き方見本を参考にする。
 - ・「研究テーマ」「学校名」「学年」「名前」を必ず記入する。

昨年度までは2枚以内としていましたが、今年度、変更しました。

ルーズリーフの場合は、バインダ等に必ず綴じて、表紙を付けましょう。

こんな研究作品づくりを目指そう

- ①だれも取り組んでいないテーマを選ぶ。
- ②自分の足で歩いて調べ、自分の目で確かめてある。
- ③ねばり強く調べ、たくさんの資料を集めてある。
- ④学区や岡崎市に関係するテーマや調べがある。
- ⑤調べたことを比べたり関係づけたりして、まとめている。
- ⑥調べたことの確かさをもとに自分の考えをまとめている。
- ⑦世の中の課題や今後の社会のあり方について、自分なりの見方や提案が示している。
- ⑧自分の強い思いや願いが表されている。



昨年度の優秀作品の研究テーマ

小学校

- 「東海大地震から身をまもれ」
- 「お田植えまつり衣装の100年」
- 「使って汚れた水はどこへ？」
- 「東西阿知和や真福寺 三蔵前と岩津町 ハツ木の丘から天神町♪」

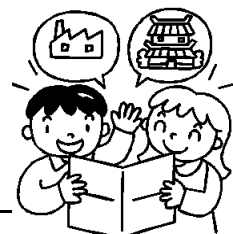
中学校

- 「新聞記事で考える岡崎の人口」

※研究を通して、「今」そして「これから」を見通すという視点を大切に、取り組もう。
※各学校にある「社会科研究作品展・発表会」の冊子の内容を参考にしよう。

「社会科研究作品展」「社会科研究作品発表会」について

- 展示期間 10月3日(土) 10:00 ~ 10月13日(火) 17:00
- 展示場所 りぶら2階ギャラリー
 - ・岡崎市小中学校児童生徒の研究作品を展示します。
 - ・展示された作品には、賞状を授与します。
- 作品発表 10月10日(土) 10:00~11:30
- 発表場所 りぶら1階103会議室(岡崎むかし館となり)



「おかざき学習」実践報告

本年度の1学期も、市内の各中学校で「おかざき学習」の実践が行われました。「指導の手引き」の内容に工夫を加え、意欲的に実践に取り組まれた学校もあります。

ここでは、そうした独自の取組が行われた2校の実践を紹介します。

【六ツ美中学校】<3年生>「志賀重昂の生き方に迫る」の実践

「おかざき学習」として3年生では特に「志賀重昂」にしぼって彼の生き方に迫ることにしました。実践にあたって、次の手立てを講じました。①志賀の著書から、彼の生き方に迫る文章を紹介し、そのときの気持ちを考える。②時代背景をとらえるために、日本の動きと彼の人生が分かる年表を作成する。③志賀に関するトピックを紹介する。

④学習内容を見開き2ページにまとめる。

(成田隆行)

『南洋時事』『日本人』『日本風景論』からの文章を紹介

『南鳥島の日本領土化に尽力』

『八丁味噌の万国衛生博覧会出品に尽力』などのトピックを紹介

年表 (左:日本 右:志賀)

日本の動き	志賀重昂の人生
1853年 (A) が誕生。	
1858年 日本は (日清和親条約) を結ぶ	
1858年 日本は (日米修好通商条約) を結ぶ	
1863年 長州藩→下関で外国船砲撃	1863年 岡崎 (彦井町) 生まれ
1864年 幕府艦隊→下関治外領	
1867年 大政奉還	
1868年 明治時代始まる	
1872年 (岩倉) 使節団→欧米へ	
1877年 (西郷) 戦争 (西南戦争)	1880年 札幌 (札幌校) に進む * (札幌校) へ進む
1881年 伊藤博文は、10年後に (團圓) を開く約束をする	* (内村魯士) 1884年 海軍兵学校の船に便乗してイギリスの英文書古本の種子を探る
1885年 (内閣) 制度創設 伊藤博文 第1次伊藤博文内閣 明治 18 (1885) 年 12月 22日 - 明治 21 (1888) 年 4月 30日 * 参議内閣 (長州)	1886年 再び便乗し、南太平洋の島々を回る 1887年 (南洋時事) を著す ⇒列島の (植民地) 化の実態を明白に
1889年 大日本帝国憲法公布	1888年 雑誌 (日本人) 創刊 ⇒ (南洋身利) を批判
1890年 最初の衆議院選挙	1894年 (日清戦争) を著す 1902年 立憲政友会から立候補し、衆議院議員になる。
1894年 (日清) 戦争	1904年 露清→地理学に専念 日露戦争を機に再度半年間、
1904年 (日露) 戦争	1905年 樺太・千島返還 1907年 朝鮮へ行く
1905年 ボツマス条約	
1910年 韓国併合	1914年 カナダ・メキシコ・キューバ・アメリカを回る
1914年 第一次世界大戦	1917年 イギリス王立地理学協会名誉会員

【見開き2ページにまとめたノート】

こういう日本に尽くしてくれた人がいるのはすごく誇らしいと思います。とても学に長けた人だと思いました。本を書いたり、この地域のために働いてくれたことを初めて知りました。たくさん世界を回ったからこそ分かることもたくさんあると思います。(感想抜粋)

【翔南中学校】<3年生>「志賀・石田・本多の素晴らしさを調べよう」の実践

今回の「おかざき学習」では、副読本『岡崎』を活用して、志賀重昂・石田茂作・本多光太郎の業績を調べ、それをもとに『とっておきクイズ』をつくる形で実践を行いました。3人の業績を理解することはもちろんですが、年度初めという時期もあり、学級での仲間づくりも考慮しました。

まず、副読本『岡崎』を使って、個人で問題をつくりました。次にグループになって、お互いに問題を出し合い、解き合いました。全問正解者も数名おり、和気あいあいとした雰囲気の中で進みました。そして、『とっておきクイズ』を通して、自分なりに一番素晴らしいと思った人物の生い立ちや業績についてまとめ、学習を終えました。

クイズ形式にしたことで、生徒が意欲的に取り組むことができました。ただ、限られた時間の中での実践となってしまう、内容の薄いものになってしまったことが反省点です。

以下に一番素晴らしいと思った人物の生い立ちや業績、授業感想の一部を載せます。

【一番素晴らしいと思った人物の生い立ちや業績】

- 『日本風景論』を著して、当時欧米に対する圧力を強く感じていた日本人を勇気づけた。(志賀重昂)
- 元日から勉強を始めて、実験のすべてにおいてひたむきで格好良かった。(本多光太郎)

【感想】・岡崎の偉人を学んで、その人がどういうふうに努力したのか分かって、岡崎に自信を持たたとともに、人生の参考になりました。

- 4人グループでクイズを出し合って、楽しいだけではなく覚えることもできました。教科書に出てくる人だけでなく、岡崎も偉人を輩出していることが分かりました。この3人を含めた家康なども岡崎の誇りだと思います。

実践を通して、単に3人の業績を知るだけでなく、岡崎に対する誇りをもつとともに、自分自身の生き方を見つめ直す良い機会となりました。(日置正敏)